

ひょうご・こうべ 依存症対策センター

相談することから始めてみませんか？

依存症に関するご本人・ご家族の相談は、
専門ダイヤルへ [兵庫県にお住まいの方専用]

☎078-251-5515

なやみされ

#7330

開所日時

火～金曜日（祝日、年末年始を除く）

9時30分～11時30分、

13時00分～15時30分



特 徴 依 存 症 の

依存症はアルコール・薬物・ギャンブルなど特定のものに心を奪われ、自分ではコントロールができなくなる病気です。回復には、依存症に関する正しい知識を身につけ、適切な対応をとっていくことが必要です。

／ 依存症には、次のような特徴があります。 ／



誰でもかかりうる病気

依存症は、特別な人格をもつ人になるものではありません。様々なストレスを受けたり、孤立したりしている時に、ちょっとしたきっかけで依存症になることがあります。年齢・性別・社会的立場などはありません。

脳の病気

依存症は脳の回路に変化が生じる病気です。依存物質や依存行為への欲求がエスカレートし、コントロールできなくなってしまう。



否認の病

「自分は病気じゃない」「いつでもやめられる」と当事者が問題を認めないことを否認と言います。周りの人も「病気ではなく性格の問題」「意志が弱いから…」などと考えて、本人を責めてしまいます。

まわりの人を巻き込む病気

人間関係よりも依存物質や依存行為を優先してしまうために、関係が悪化し、身近な人を巻き込んでしまいます。



孤独の病

依存症が進行するにつれて、周囲から孤立し、孤独感や疎外感がつのります。この苦しみを軽減しようとして、さらなる依存物質や依存行為へののめりこみにつながるといふ悪循環も生じます。

／ まずは、お気軽にご相談ください。 ／

相談員がお話を伺います。
依存症から回復するために、
ご本人・ご家族ができることを一緒に考えます。

